

HIDWR

兵庫県感染症発生動向調査週報(速報) 2025 年第 42 週 (10 月 13 日～10 月 19 日) 兵庫県感染症情報センター (兵庫県立健康科学研究所)

Hyogo Infectious Diseases Weekly Report

全国の情報は国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイトホームページにてご覧ください。 <https://id-info.iihs.go.jp/>

定点把握感染症 (指定された医療機関から報告を求める感染症です)

疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減	
	今週	先週				今週	先週		
インフルエンザ	2.66	1.14	+1.52	↑	手足口病	0.09	0.20	-0.11	↓
COVID-19	2.80	3.58	-0.78	↓	伝染性紅斑	0.94	1.68	-0.74	↓
急性呼吸器感染症	44.38	50.80	-6.42	↓	突発性発しん	0.27	0.13	+0.14	↑
RS ウイルス感染症	1.50	1.69	-0.19	↓	ヘルパンギーナ	0.10	0.11	-0.01	↓
咽頭結膜熱	0.34	0.42	-0.08	↓	流行性耳下腺炎	0.03	0.04	-0.01	↓
A 群溶血性連鎖球菌咽頭炎	1.30	1.69	-0.39	↓	急性出血性結膜炎	0.00	0.11	-0.11	↓
感染性胃腸炎	3.50	3.92	-0.42	↓	流行性角結膜炎	0.37	0.46	-0.09	↓
水痘	0.07	0.40	-0.33	↓	※2025 年 4 月 7 日 (第 15 週) より、定点数が変更となりました。				

基幹定点の罹患数：細菌性髄膜炎 2 人 (0.14 人)、無菌性髄膜炎 3 人 (0.21 人)、マイコプラズマ肺炎 8 人 (0.57 人)

※括弧内は定点あたりの患者数

※2025 年 4 月 7 日から、急性呼吸器感染症が追加になりました。詳しくは厚生労働省ホームページ (急性呼吸器感染症 (ARI))
をご覧ください。 <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/ari.html>

インフルエンザに関する情報

インフルエンザ

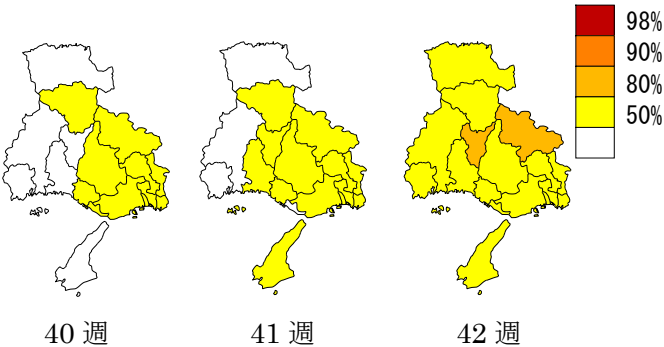
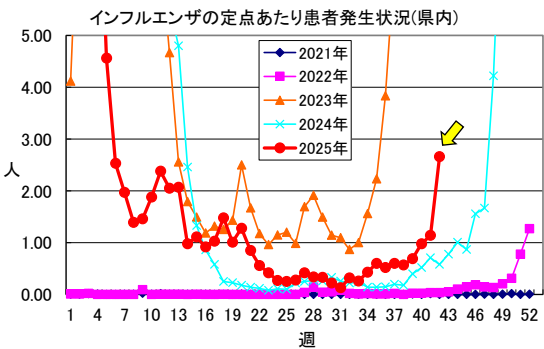
定点あたり患者数は、今週 **2.66 人** (先週 1.14 人) と増加しました。地域的には、福崎保健所管内で警報レベル基準値 (定点あたり患者数 30.0 人) 以上、朝来保健所管内で注意報レベル基準値 (定点あたり患者数 10.0 人) 以上となっています。

直近の 5 週間に県内の定点医療機関から報告された患者 991 人の年齢分布では、10～14 歳が 32%、5～9 歳が 23% で、15 歳未満が全体の 67% を占めています。

臨時休業の施設別発生状況では、今週 17 件 (先週 11 件) の報告がありました。内訳は、学校閉鎖 1 件、学年閉鎖 2 件、学級閉鎖 14 件で、施設別では、幼稚園 3 件、小学校 7 件、中学校 7 件です。

社会福祉施設等においては、今週 1 件 (先週 0 件) の集団発生が報告されています。

インフルエンザの予防には、ワクチン接種、手洗いが有効です。また、感染が疑われる場合は、マスクの着用、咳エチケット、早めの受診が重要です。



(1 週間あたりの患者数が、各地域の過去 5 年間のデータの下からどれぐらいになるかを、50、80、90、98 パーセンタイル値を基準に、色分けして表示しています。)

COVID-19（新型コロナウイルス感染症）に関する情報

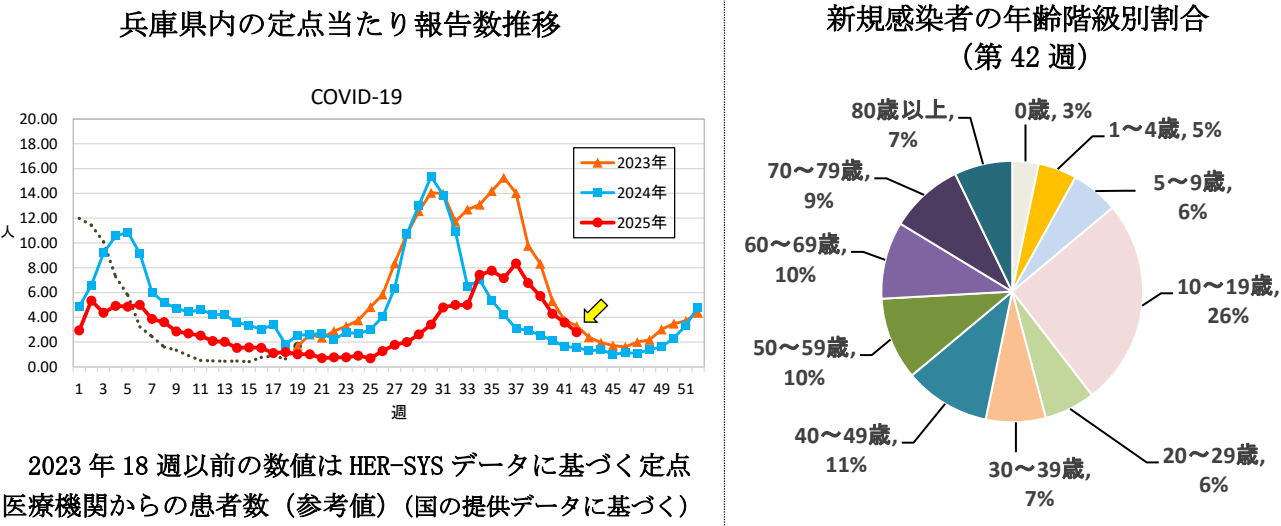
COVID-19（新型コロナウイルス感染症）

兵庫県内の定点あたり患者数は今週 **2.80 人**（先週 3.58 人）と減少しました。

地域別では福崎保健所管内が **22.50 人**と最も多く、赤穂保健所管内が **6.17 人**、丹波保健所管内が **5.17 人** となっており、年齢別では **10～19 歳**が **26%**、**40～49 歳**が **11%**、**50～59 歳**及び **60～69 歳**が **10%**となっています。

また、社会福祉施設等においては、今週 2 件（先週 4 件）の集団発生が報告されています。

県民の皆様には引き続き 3 密の回避、手指消毒、効果的な換気、マスクの適切な着用といった基本的な感染症対策をお願いします。



※2023 年 5 月 8 日から、新型コロナウイルス感染症は定点把握に変更になりました。

全数把握感染症

1 類感染症	報告はありません。
2 類感染症	結核 29 人 （保健所：神戸市 18 人、尼崎市 4 人、姫路市 1 人、西宮市 4 人、明石市 1 人、丹波管内 1 人）
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 1 人 （加東保健所管内；有症者；女性 20 歳代；O157 VT1VT2；感染地域：兵庫県；感染経路：経口感染）（累積報告数 127 人；有症者 76 人、HUS 5 人）
4 類感染症	重症熱性血小板減少症候群（SFTS） 1 人 （姫路市；女性 80 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：動物・蚊・昆虫等からの感染） デング熱 1 人 （姫路市；デング熱；男性 40 歳代；感染地域：ベトナム；感染経路：動物・蚊・昆虫等からの感染） 日本紅斑熱 2 人 （①神戸市；女性 70 歳代；感染地域：国内；感染経路：動物・蚊・昆虫等からの感染、②西宮市；女性 80 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：動物・蚊・昆虫等からの感染） レジオネラ症 2 人 （①神戸市；肺炎型；男性 70 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明、②加東保健所管内；肺炎型；男性 80 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明）
5 類感染症	アメーバ赤痢 1 人 （西宮市；腸管アメーバ症；男性 60 歳代；感染地域：中華人民共和国・ベトナム；感染経路：経口感染） クロイツフェルト・ヤコブ病 1 人 （加古川保健所管内；古典型クロイツフェルト・ヤコブ病（疑い）；女性 60 歳代） 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 人 （丹波保健所管内；男性 90 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：接触感染） 水痘（入院例） 2 人 （①神戸市；臨床診断例；女性 90 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明；ワクチン接種歴：不明、②尼崎市；検査診断例；男性 60 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明；ワクチン接種歴：無）

	<p>梅毒 4 人（①神戸市；早期顕症梅毒Ⅰ期；男性 20 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触、②神戸市；早期顕症梅毒Ⅰ期；男性 40 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触、③神戸市；早期顕症梅毒Ⅱ期；男性 20 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触、④宝塚保健所管内；早期顕症梅毒Ⅰ期；男性 20 歳代；感染地域：国内；感染経路：異性間性的接触）</p> <p>播種性クリプトコックス症 1 人（神戸市；男性 80 歳代；感染地域：不明；感染原因：免疫不全）</p> <p>百日咳 20 人（保健所：神戸市 9 人、尼崎市 2 人、姫路市 2 人、西宮市 3 人、伊丹管内 1 人、加古川管内 1 人、加東管内 1 人、洲本管内 1 人；性別：男性 12 人、女性 8 人；年齢群：0 歳 2 人（ワクチン接種歴：1 回有(1 人)、無(1 人))、5～9 歳 4 人（ワクチン接種歴：4 回有(3 人)、不明(1 人))、10～14 歳 8 人（ワクチン接種歴：4 回有(3 人)、3 回有(1 人)、不明(4 人))、15～19 歳 2 人（ワクチン接種歴：不明）、30 歳代 3 人（ワクチン接種歴：不明）、40 歳代 1 人（ワクチン接種歴：不明）（累積報告数 3,258 人、うち病原体遺伝子検出 2,349 人）</p>
2025 年 41 週までに診断されたものの報告遅れ	<p>レジオネラ症 1 人</p> <p>侵襲性肺炎球菌感染症 1 人</p> <p>百日咳 4 人</p>

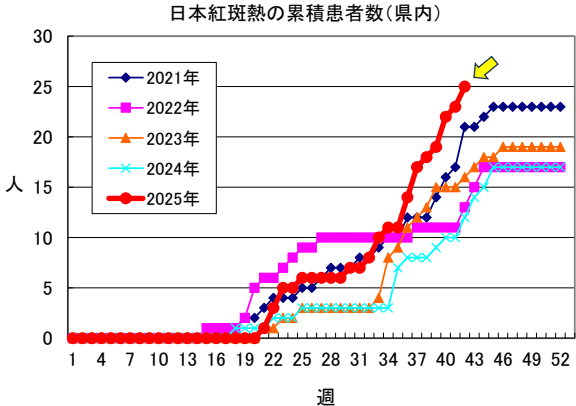
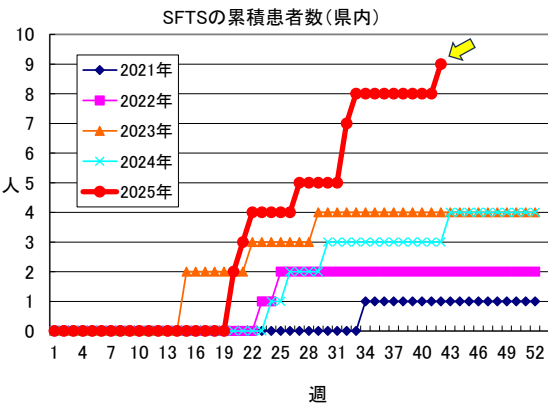
ダニ媒介感染症（重症熱性血小板減少症候群・日本紅斑熱）

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の報告が今週は 1 人あり、今年の累計患者数は 9 人となりました。また、日本紅斑熱は今週 2 人、今年の累計患者数は 25 人となっています。

これらは主に病原体（ウイルスやリケッチア）を保有するマダニに咬まれることで感染します。

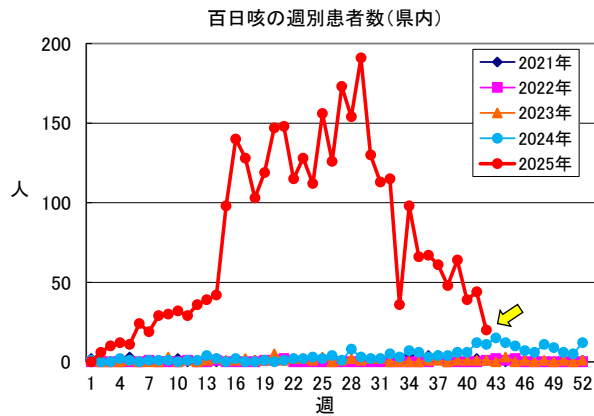
SFTS は SFTS ウイルスを病原とし、主な症状は原因不明の発熱、嘔吐下痢などの消化器症状、血小板減少、白血球減少などが認められ、重症化すると死に至ることもあります。潜伏期間は 6～14 日で、治療薬はなく対症療法となっています。一方、日本紅斑熱はリケッチア・ジャポニカを病原とし、主な症状は発熱、発疹、刺し口が赤く腫れ中心部がかさぶたになるのが特徴です。潜伏期間は 2～8 日で、治療にはテトラサイクリン系の抗菌薬等が投与されます。

マダニの活動が活発となる春から秋にかけて、ハイキングや草むらに入る場合は、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用して肌の露出を少なくする、虫よけスプレーを活用する、帰宅後すぐに入浴し着替えるなどの予防対策が必要です。また、山野へ入った 2 週間以内に発熱や発疹が出た時はすぐに受診し、その時の行動を伝えることが重要です。



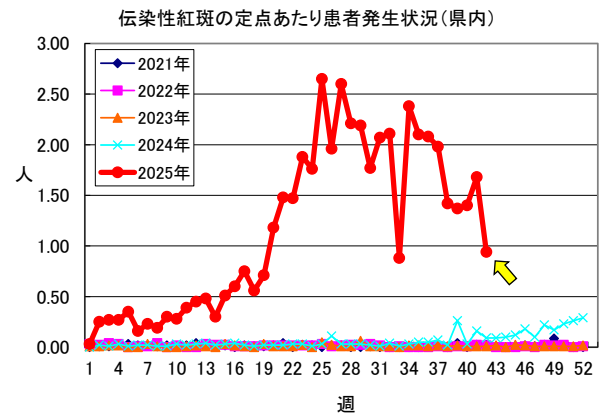
目で見る動向（県内）

百日咳



今週 **20** 人の報告があり、今年の累積患者数は 3,258 人となりました。

伝染性紅斑



定点あたり患者数は今週 **0.94** 人（先週 1.68 人）と減少しました。

地域的には、神戸市、姫路市、明石市、加古川及び赤穂保健所管内で警報レベルとなっています。

この週報はホームページ（https://web.pref.hyogo.lg.jp/iphs01/kansensho_jyoho/infectdis.html）にも掲載しています。

2022 年 4 月 1 日から H P が新しくなりました。旧 H P は閲覧出来なくなりましたのでご注意ください。

また <https://id-info.jihs.go.jp/> から国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイトの週報（IDWR）がダウンロードできます。